

5 国 語

国 語

注 意

- 1 問題は **1** から **5** までで、12 ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は五〇分で、終わりは午前九時五〇分です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 答えは全て解答用紙にHB又はBの鉛筆（シャープペンシルも可）を使って明確に記入し、**解答用紙だけを提出しなさい。**
- 5 答えは特別の指示のあるもののほかは、各問のA・イ・ウ・エのうちから、最も適切なものをそれぞれ一つずつ選んで、その記号の ○ の中を正確に塗りつぶしなさい。
- 6 答えを記述する問題については、解答用紙の決められた欄からはみ出さないように書きなさい。
- 7 答えを直すときは、きれいに消してから、消しくずを残さないようにして、新しい答えを書きなさい。
- 8 **受検番号**を解答用紙の決められた欄に書き、その数字の ○ の中を正確に塗りつぶしなさい。
- 9 解答用紙は、汚したり、折り曲げたりしてはいけません。

1

次の各文の――を付けた漢字の読みがなを書け。

- (1) 麦の穂が真つすぐに伸びる。
- (2) 桜の植えられた河畔の堤を歩く。
- (3) 帰宅して上着をハンガーに掛ける。
- (4) 慕っている先輩に感謝の手紙を書く。
- (5) 狩猟に用いられた矢じりの石質を調査する。

2

次の各文の――を付けたかたかなの部分に当たる漢字を楷書で書け。

- (1) 体力テストで、ハンドボールをナげる。
- (2) 惑星探査機がウチユウを航行する。
- (3) 平和がエイエンに続くことを願う。
- (4) 科学技術がイチジルしく進歩する。
- (5) 長距離走のタイムをビョウの単位まで計る。

3

次の文章を読んで、あとの各問に答えよ。

バレリーナを夢見ていた「私」は、少女時代にフェリーでバレエ教室に通い、往復の船上でも練習を続け、夢を叶えた。やがてバレリーナを引退し、故郷に戻った「私」は、大輔に誘われ佐代子が営む習字教室に通う。船上でバレエの練習に励む姿に勇気もらい習字教室を始めたことを佐代子に打ち明けられた「私」は、佐代子に頼まれ船上で踊ることになった。

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

掲載許諾 申請中

(清水晴木「旅立ちの日に」による)

〔問1〕⁽¹⁾ いままで続くのか分からないくらい、長い拍手をしてくれた。

とあるが、この表現について述べたものとして最も適切なのは、
次のうちではどれか。

ア 「私」のバレエの技術に感心する佐代子の様子を、拍手している時
間の経過を明確に描くことで説明的に表現している。

イ 「私」のバレエの演技に満足し拍手を送る佐代子と、バレエを踊っ
た後の「私」の様子とを描き分けることで対照的に表現している。

ウ 揺れている船上で無事に踊り終えた「私」に安心する佐代子の様子
を、拍手の動作を順序立てて描くことで論理的に表現している。

エ 全力で踊り切った「私」に感動する佐代子の様子を、拍手の長さを
強調して描くことで印象的に表現している。

〔問2〕⁽²⁾ 「ふう……。」とあるが、この表現から読み取れる「私」の様子

として最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア 突然の出来事に戸惑いながらも周囲の期待をしっかりと受け止めて、
真剣に作品づくりに向き合おうとしている様子。

イ 長年取り組んできたバレエと始めたばかりの習字との共通点を見付
け、作品づくりの面白さを実感し始めている様子。

ウ 『亭』の字と片方の足で立っているバレリーナの姿が似ていること
に気を取られたため、作品づくりの手順を確認しようとしている様子。

エ 佐代子からの申し出を嬉しく思い、これまでの練習の成果を出し切っ
て佐代子を喜ばせたいと意気込んでいる様子。

〔問3〕⁽³⁾ でも違っていったのかもしれない。とあるが、「私」が「違ってい
たのかもしれない。」と思ったわけとして最も適切なのは、次のう
ちではどれか。

ア この町で変化のない日々を送ると思ったが、港に降りる人々を見て、
この人たちにも素敵な出会いがあることを願う気持ちが生まれたから。

イ この町で変化のない生活を続けようと思っていたが、自分の新たな可能
性を発見したことで、これからは書の道を進んでいこうと決意したから。

ウ この町にいても自分の人生は変わらないと思っていたが、人々との
交流を通じて、この町の人々との生活にも魅力があると感じたから。

エ この町で変わらない生活を送ると思っていたが、満足いく作品が仕上
がったことで、この町を離れてもやっていると自信がついたから。

〔問4〕⁽⁴⁾ そう言って私も笑った。とあるが、このときの「私」の気持ちに最も近いのは、次のうちではどれか。

ア 手首が痛くなった原因を聞いてははじめはがっかりしたが、自分の作品が喜ばれたため、佐代子を許そうと思う気持ち。

イ ハッピーエンドで終わるゲームの話聞いて、佐代子が将来に希望をもち始めていると受け止めて、安心する気持ち。

ウ 看板の仕事を譲った理由を打ち明けられたことから、佐代子の優しい一面に気付き、今後も作品づくりに力を入れたいと思う気持ち。

エ 白鳥の湖の新しい結末について話したことで、佐代子も自分と同じように未来を前向きに捉えていることを感じ、嬉しく思う気持ち。

〔問5〕⁽⁵⁾ でもこらえきれそうにない。とあるが、このときの「私」の気持ちに最も近いのは、次のうちではどれか。

ア 多くの人々からバレエの面白さを改めて気付かせてもらったことで、幸福感に満たされ、佐代子に感謝したい気持ち。

イ 周囲にいる素晴らしい人々の存在を実感できた喜びと、自分の作品が認められたことへの喜びが込み上げ、高揚する気持ち。

ウ 新たに作品の依頼を受けたことから、緊張を乗り越え作品づくりをやり遂げた達成感を自覚し、自分を誇りたいと思う気持ち。

エ 新しいリクエストを受けたことをきっかけに、バレエを続けたいという、自分の本心に正直になろうと思う気持ち。

という、自分の本心に正直になろうと思う気持ち。

4

次の文章を読んで、あとの各問に答えよ。（*印の付いている言葉には、本文のあとに〔注〕がある。）

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

掲載許諾 申請中

〔注〕

（信原幸弘「情報とウエルビーイング」（二部改変）による）

ウエルビーイング——人生のよい在り方。

欺瞞^{ぎまん}——だますこと。

真正——本物であること。

ディストピア——暗黒世界。

方途——方法。

淘汰^{たうた}——環境に適応できないものが取り除かれること。

アルゴリズム——計算の手順。

〔問1〕 そうだとすれば、そもそも行動に関係させないような情報な

ど、何の意味もないのではないだろうか。とあるが、筆者がこ
のように述べたのはなぜか。次のうちから最も適切なものを選び。

ア フェイクニュースは人の行動を失敗させるものであるため、はじ

めから人はフェイクニュースを見ようとはしないと考えているから。

イ 情報は人の興味を引いて共感させることに意味があるため、信頼

性だけでなく面白さも必要だと考えているから。

ウ 正しさによって人の行動を成功に導くことが情報の本質であるた

め、人の行動につながらない情報には価値がないと考えているから。

エ フェイクニュースを多くの人が信じて行動したとしても「軽い」

結果で終わると想定されるため、実害は生じないと考えているから。

〔問2〕 いずれにせよ、情報を娯楽として消費する人は、情報を情報

として真摯に受け止めていない。とあるが、「情報を娯楽として

消費する」とはどういうことか。次のうちから最も適切なもの

を選べ。

ア 情報を、信頼性によって私たちを成功に導くものとして捉え、安

全に行動するために使うということ。

イ 情報を、面白さを享受するためのものとして捉え、真偽にこだわら

ず楽しむために使うということ。

ウ 情報を、人生に潤いを与えるものとして捉え、私たちの生活の質を

高めるために使うということ。

エ 情報を、自分に役立つものとして捉え、不確定性を減らして穏やか

に生きていくために使うということ。

〔問3〕 この文章の構成における第八段の役割を説明したものとして最も

適切なものは、次のうちではどれか。

ア 第七段で説明した内容を踏まえ、A Iと人間との関係について新た
な視点と疑問を示すことで、論の展開を図っている。

イ 第七段で説明した内容を踏まえ、A Iと電脳空間との関係について
新たな具体例を提示することで、話題の転換を図っている。

ウ 第七段で説明した内容を受けて、人間とアナログ情報との関係につ
いて順序立てて解説することで、論の妥当性を強調している。

エ 第七段で説明した内容を受けて、A Iとアナログ情報との関係につ
いて簡潔に要約することで、論点を整理している。

〔問4〕 そうなれば、おそらくアップロードされた私たちの心はもはや人

間の心ではなくなり、私たちは消滅の憂き目に合うことになる。

とあるが、筆者が「アップロードされた私たちの心はもはや人間の
心ではなくなると述べたのはなぜか。次のうちから最も適切なもの

を選べ。

ア デジタル情報に変換された私たちの心は、記憶や知識などの重要な

情報が消滅して新しい情報へ更新されると考えているから。

イ デジタル情報の「名残」に置換された私たちの心は、電脳空間を生き

延びる上で必要な情報を集めることはまだできないと考えているから。

ウ アナログ情報の集合である私たちの心は、電脳空間に適應するために

アナログ性を保ちながら自由に形を変えられると考えているから。

エ 電脳空間に適した姿に変貌した私たちの心は、人間の心を実現する

生物媒体のアナログ性が失われていると考えているから。

〔問5〕 国語の授業でこの文章を読んだ後、「これからの情報社会をより

よく生きる」というテーマで自分の意見を発表することになった。

このときにあなたが話す言葉を具体的な体験や見聞も含めて二百字以内で書け。なお、書き出しや改行の際の空欄、や。や「などもそれぞれ字数に数えよ。

5

次のA及びBは、清少納言せいしょうなごんが書いた「枕草子」と、紫式部むらさきしきぶが書いた

「源氏物語」についての対談と文章の一部であり、内の文章

はBに含まれる古典の原文の現代語訳である。これらの文章を読んで、あとの各問に答えよ。（*印の付いている言葉には、本文のあとに〔注〕がある。）

A

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

B

掲載許諾申請中

(円地文子、吉田精一「源氏物語をめぐる」による)

掲載許諾
申請中

掲載許諾申請中

(塚原鉄雄「枕草子研究」による)

掲載許諾申請中

〔注〕

なまみこ物語——円地文子の小説。清少納言が仕えた定子の生涯を描く。

涯を描く。

関みさを——昭和時代の国文学者。

悲境——悲しい境遇。

道具だて——必要な道具を整えること。

遣水——庭に水を引き入れて作った流れ。

童べ——女の子供。

雪まろばし——雪の玉を作ること。

登華殿——后などが住む建物。

立部——日光や風雨を防ぐためのついたて。

隨身——警護の者。

〔問1〕 Aの中の――を付けたア、工の「に」のうち、他と意味・用法の異なるものを一つ選び、記号で答えよ。

〔問2〕 ⁽¹⁾円地さんの発言の、この対談における役割を説明したものとして最も適切なものは、次のうちではどれか。

ア 吉田さんの、「源氏物語」についての意見に対し、理解を示しつつも自らの考察を加味することで、話題の内容を深めようとしている。

イ 吉田さんの、「源氏物語」についての意見に対し、同意するとともに関連する事例を示すことで、話題を転換しようとしている。

ウ 吉田さんの、「枕草子」についての意見に対し、別の表現で分かりやすく言い換えることで、問題点を整理しようとしている。

エ 吉田さんの、「枕草子」についての意見に対し、反対の立場から自分の解釈を紹介することで、話題を焦点化しようとしている。

〔問3〕 Bの中の――を付けたア、工のうち、現代仮名遣いで書いた場合と異なる書き表し方を含んでいるものを一つ選び、記号で答えよ。

〔問4〕 ⁽²⁾なほいみじう降るにとあるが、Bの現代語訳において「なほいみじう降るに」に相当する部分はどこか。次のうちから最も適切なものを選び。

ア まっ暗に一面に曇って

イ 雪が空も暗くなるほど降るので

ウ その上にも盛んに降り続く、そんなところに

エ 脇の方にある塀の戸から入って

〔問5〕 A及びBのそれぞれにおいて、「源氏物語」の自然描写について説明したものとして最も適切なものは、次のうちではどれか。

ア Aでは自然を物語の中心に据えて描いているとの意見があり、Bでは作者とながめる事物との距離を保って表現していると述べられている。

イ Aでは自然の美化を理想として描いているとの意見があり、Bでは対象を観察し鋭敏な印象を端的に表現していると述べられている。

ウ Aでは自然の美しさを目立たせて描いているとの意見があり、Bでは風景や心情を客観的な印象で表現していると述べられている。

エ Aでは自然を細やかな感覚で描いているとの意見があり、Bでは対象に自己を同化し繊細な心情で自然を適切に表現していると述べられている。








解答用紙 国語

受 検 番 号						
0	0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9

部分がマークシート方式により解答する問題です。

マーク上の注意事項

- HB又はBの鉛筆（シャープペンシルも可）を使って、○の中を正確に塗りつぶすこと。
- 答えを直すときは、きれいに消して、消しくずを残さないこと。
- 決められた欄以外にマークしたり、記入したりしないこと。

良い例	悪い例
	 線
	 丸囲み
	 小さい
	 レ点
	 はみ出し
	 うすい

1	
(1) 伸びる	びる
(2) 河	畔
(3) 掛ける	ける
(4) 慕って	って
(5) 狩	猟

2	
(1) ナげる	げる
(2) ウチユウ	
(3) エイエン	
(4) イチジルしく	しく
(5) ビョウ	

3		
(問5)	(問3)	(問1)
ア	ア	ア
イ	イ	イ
ウ	ウ	ウ
エ	エ	エ
(問4)	(問2)	
ア	ア	
イ	イ	
ウ	ウ	
エ	エ	

4									
(問5)								(問3)	(問1)
								ア	ア
								イ	イ
								ウ	ウ
								エ	エ
								(問4)	(問2)
								ア	ア
								イ	イ
								ウ	ウ
								エ	エ

5		
(問5)	(問3)	(問1)
ア	ア	ア
イ	イ	イ
ウ	ウ	ウ
エ	エ	エ
(問4)	(問2)	
ア	ア	
イ	イ	
ウ	ウ	
エ	エ	

1	
(1) 伸びる	のびる
(2) 河畔	かはん
(3) 掛ける	かける
(4) 慕って	したって
(5) 狩猟	しゅりよう

(1) 2点
(2) 2点
(3) 2点
(4) 2点
(5) 2点

2	
(1) ナげる	投げる
(2) ウチュウ	宇宙
(3) エイエ	永遠
(4) イチジルしく	著しく
(5) ビョウ	秒

(1) 2点
(2) 2点
(3) 2点
(4) 2点
(5) 2点

3		
(問5)	(問3)	(問1)
イ	ウ	エ
	(問4)	(問2)
	エ	ア

※ ※
 2 1
 について、読みがなは、ひらがなでもかたかなでもよい。
 について、(3)は「遠」にも、(4)は「著」にも、
 それぞれ点を与える。

問5 5点	問3 5点	問1 5点
	問4 5点	問2 5点

4											(問3)	(問1)
(問5)											ア	ウ
付	間	く	理	道		く	の	業				
け	に	、	さ	だ	筆	あ	現	が	環			
て	は	そ	れ	と	者	り	状	あ	境		(問4)	(問2)
、	必	の	た	と	は	、	を	り	問		エ	イ
情	要	情	情	述	「	注	詳	ま	題			
報	だ	報	報	べ	A	意	し	し	の			
社	と	か	を	て	I	す	く	た	解			
会	思	ら	そ	い	と	る	調	。	決			
を	い	取	の	ま	の	必	べ	イ	策			
よ	ま	捨	ま	す	共	要	る	ン	に			
り	す	選	ま	。	生	が	と	タ	つ			
よ	。	択	受	A	が	あ	不	丨	い			
く	私	し	け	I	唯	る	確	ネ	て			
生	は	活	入	に	一	と	定	ッ	意			
き	こ	用	れ	よ	の	思	な	ト	見			
た	の	す	る	っ	生	い	情	で	を			
い	力	る	の	て	き	ま	報	環	述			
で	を	力	で	高	延	し	が	境	べ			
す	身	が	は	速	び	た	数	問	る			
。	に	人	な	処	る	。	多	題	授			

200	100	20	問3 5点	問1 5点	問5 10点	問4 5点	問2 5点
-----	-----	----	-------	-------	--------	-------	-------

5		
(問5)	(問3)	(問1)
エ	ウ	イ
	(問4)	(問2)
	ウ	ア

問5 5点	問3 5点	問1 5点
	問4 5点	問2 5点

国語 採点のポイント

(5 一次・分割前期)

問題番号 配点	正 答 例	採点のポイント
<p style="text-align: center;">4 〔問5〕</p> <p style="text-align: center;">配点 10点</p>	<p>環境問題の解決策について意見を述べる授業がありました。インターネットで環境問題の現状を詳しく調べると不確定な情報が数多くあり、注意する必要があると思いました。</p> <p>筆者は「AIとの共生が唯一の生き延びる道だ」と述べています。AIによって高速処理された情報をそのまま受け入れるのではなく、その情報から取捨選択し活用する力が人間には必要だと思います。私はこの力を身に付けて、情報社会をよりよく生きたいです。</p> <p style="text-align: right;">(200字)</p>	<p>○テーマ「これからの情報社会をよりよく生きる」に即した自分の意見、主張が適切に書かれている。</p> <p>○本文中の筆者の主張を的確に捉え、その主張を踏まえて、文章が適切に書かれている。</p> <p>○自分の意見、主張の根拠となる具体的な体験や見聞について、適切に書かれている。</p>

各学校において、採点のポイントを踏まえて『部分点の基準』を作成し、『部分点の基準』との点数』を定めること。

なお、受検者の実態等にに応じて、次の例のように詳細な基準を定めることができる。

- ・ 「○○」について××が書かれている。のように、具体的な内容を加えること。
- ・ 「○○と△△が書かれている。(3点)」「○○が書かれている。(2点)」「△△が書かれている。(1点)」のように、段階を設け、段階ごとの点数を設定すること。
- ・ 「誤字が一つ以上ある。(1点減点)」のように、部分点の基準を加えること。